◆◆◆

下大和田・小山町谷津田だより　－2025 年　６月　No.280 号－

【活 動 報 告】

＜下大和田での活動＞　写真：田中正彦

第 304 回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い 2025 年　５月　４（日）はれ　報告：田中正彦

５月、下大和田の谷津田と森は、一年で最も鮮やかな緑で覆われます。残念ながら休耕田と化した田んぼ一面ヒメガマやヒシで覆われてきて、水面はわずかに残っているだけでしたが、その中でもミナミメダカが群れで泳いでいました。水路際にはショウブが繁茂し、皆で葉をもんで匂いをかいでみました。ヤマサナエやシオヤトンボが本格的な春の訪れを教えてくれます。

林床では、ウラシマソウに変わってマムシグサが出現、フタリシズカやキンランが群落を作っていました。特にキンランは１か所で 25 株生えているところがあり、木漏れ日の中で黄色い花が鮮やかに輝いていました。

集合写真を撮影した後、スズメバチ用のトラップ 14 個を皆で協力して設置しました。この時期女王バチを捕えておくことは、スズメバチに刺される被害を抑えるために重要な作業です。

参加者１６名（大人９名、大学生５名、小学生２名）

……

第 310 回 下大和田ＹＰＰ「古代米の田植え」 2025 年　５月１８日（日）くもり　報告：平沼勝男

前日は雨でしたがこの日は天気に恵まれました。作業の内容は復田した田んぼの田植えです。小山町 YPP から頂いた三種類の古代米、緑米を主体に赤米と黒米を植えました。

水路から水を引き田んぼの水位を上げ、田んぼに入りましたがやはり深い田んぼです。気温は25℃以上になる予想なので、できれば胴長ではなく田んぼ用の長靴で入りたかったのですが、胴長にしました。

植えた苗が曲がらないようにロープを張り、用意した竹棒の目印の幅に合わせて苗を植えていきます。苗は１本植えか２本植えにしました。狭い田んぼなので１時間くらいで田植えは終了。復田した田んぼに苗を植えられてほっとした実感がわきました。このほかに畑の手入れ、森の手入れもしました。

参加者１１名（大人９名、小学生２名）

……

＜小山町での活動＞

☆小山町で予定されていた学校田んぼは延期、ＹＰＰは中止になりました。

【谷津田・季節のたより】　2025 年　５月

＜下大和田町＞　報告　平沼勝男

5/ 4 生き物田んぼではオオイトトンボ少ないながらも飛んでいました。まだ縄張り争いはしていない様子。シオカラトンボが田んぼでは優勢です。シオヤトンボもまだいました。水路沿い、川沿いではニホンカワトンボが活発でした。森の中ではマムシグサが出始めました。シジュウカラとウグイスのさえずりが盛んに聴こえました。

5/25 ドクダミは畔にたくさん咲いていました。良く見ると綺麗な花です。普段雑草にしか見えないギシギシは、特徴のある大きな花を咲かせていました。オオヨシキリが盛んに囀ります。縄張り争いたけなわの様です。ウグイスもキビタキもさえずり、谷津田はとても賑やかです。一番よく聞こえてくるのはガビチョウでした。年々増えています。

＜小 山 町＞　報告　た：たんぽぽ　　高：高山邦明

4/30　キビタキのさえずりを今季初めて聞く（高）
5/ 1　りんどう広場を野うさぎが跳ねながら走る（た）、ホンドリスが木の枝で餌を食べていた（高）
5/ 3　鮮やかな青色の鳥（ルリビタキ?）が鳴きながら飛ぶ（た）
5/ 4　オオヨシキリが休耕田のアシ原に飛来してさえずる（高）
5/ 7　田んぼにオオイトトンボの姿（高）
5/ 8　キジがメスに向かってホロ打ち（た）
5/15　畦で今年生まれのアカガエルが跳ねる、シオカラトンボが飛び始める、ウノハナ、ヤマボウシ、エゴノキ、テイカカズラ、ドクダミなど初夏の白い花が開花（高）
5/16　今季初めてホトトギスが鳴きながら谷津の上空を飛ぶのを見る、スイカズラが開花して芳香を放つ、モミジイチゴが美味しく実る（高）
5/18　今年生まれの小さなヒキガエルが畦に上陸、畑に６頭のうりぼう（イノシシの子）の群れが出没（高）
5/20　真っ赤なショウジョウトンボが田んぼの上を飛翔（高）
5/26　ヤマカガシ 口に大きな獲物をくわえて通る（た）
5/27　あまり水辺を離れないセグロセキレイが幼鳥２羽を連れて丘の上の畑で餌を探していた（高）

【イベントのお知らせ】主　催：ＮＰＯ法人 ちば環境情報センター

＜下大和田谷津田＞　連絡先：小西 TEL.090-7941-7655 , E-mail : yatsudasukisuki@gmail.com

・森と水辺の手入れ

日　時：2025年　６月１５日（日）　９時45分～１２時　雨天中止
内　容：復田した田んぼと畑の手入れをします。森の手入れも行います。
持ち物：長靴、長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物など　　**参加費**：無料

・第16回ヘイケボタル観察会

日　時：2025年　６月２１日（土）　１８時30～２０時　雨天中止
内　容：谷津田に生息するヘイケボタルの夜間観察
持ち物：長靴、長袖長ズボンの服装、防虫スプレー、懐中電灯など**（観察中は点灯禁止です）**
参加費：無料

＜ヘイケボタルとは＞

ホタルといえば、日本ではゲンジボタルをさすことが多いようですが、下大和田で見られるのはヘイケボタルです。

ゲンジボタルは、日本の固有種で体が大きく光も強いので昔から親しまれていましたが、近年激減しています。発光の間隔が東日本では４秒、西日本では２秒と異なっています。これらは遺伝子レベルでも異なっていることがわかっています。安易に他の地域のホタルを養殖して川に放すような保護活動が行われることもありますが、遺伝子攪乱が指摘されていて問題になっています。

ヘイケボタルはやや小型で、光が弱くその点滅はバラバラです。羽化の時期が長く６月～8月ごろ（場所により10月頃）まで続くようです。ヘイケボタルは保護活動の対象にはならないようで、もちろん下大和田のホタルは自然の中で生きているものです。

幼虫期を水中で過ごすこれらの昆虫は、水辺のコケ等に産みつけられた卵からかえった幼虫は、水の中に入り貝を食べて大きくなります。成長した終齢幼虫は、土にもぐってさなぎになります。そのあと羽化して成虫になります。

つまり、これらのホタルは、水辺、水中のエサとなる貝や幼虫がはい上がれる土（蛹になれるような土）などすべての条件が満たされた環境でないと生存できません。農薬や化学肥料を使わない田んぼづくりが結果として、これらの貴重な生きものを支えているということになります。私たちの活動の意義を、改めて感じ入ることができます。　**観察会資料（高橋久美子さん作成）より**

・森の手入れ

日　時：2025年　６月２２日（日）　９時45分～１２時　雨天中止
内　容：森の下草刈りなど観察路の整備を整理します。
持ち物：動きやすい服装（長そで長ズボン）、森で活動できる靴、帽子、手袋、飲み物　**参加費**：無料

・第306回　観察会とゴミ拾い

日　時：2025年　７月　６日（日）　９時45分～１２時　雨天決行
内　容：　シュレーゲルアオガエルが林縁でたくさん見られる頃です，カブトムシやクワガタムシも現れる頃です，緑濃く生き生きとした木々の森と谷津を巡ります。
持ち物：筆記用具、飲み物、長靴、帽子、ゴミ袋、敷物　　**参加費**：100円

＜小山町谷津田＞

▼第237回 小山町　ＹＰＰ「田植え」

日　時　：2025年　６月　８日（日）　10時00分～　☆小雨決行
場　所　：小山町谷津田
※参加ご希望、その他の問い合わせは、ceic.ypp.oyama@gmail.com までお気軽にメールでご連絡下さい。

◆◆